

迂闊にフォークに出すな

Esurio(@esurio1673@c.koliosky.com)

自己紹介

名前: Esurio

SNS: @esurio1673@c.koliosky.com

職業: 学生(休学中)、アルバイト

ディストリ: Ubuntu, Debian, Fedora

言語: Typescript, Rust

普段: CherryPick(Misskeyのフォーク)をフォークしてる

ソフトウェア: CherryPick, Akkoma, GoToSocial, Mitra, Hollo

フォークとは

“ ソフトウェア開発におけるフォーク（英語: fork）即ち派生とは、あるソフトウェアパッケージのソースコードから分岐して、別の独立したソフトウェアを開発すること
wikipedia ”

フォークを使う理由

- この機能が欲しいけど本家に実装される気配がない
- 開発者と思想の違いが強い
- 開発状況に対して不安がある
- 本家がメンテナンスされなくなった

ちょっと待って

- フォークの開発者は個人になることもしばしば
- あなたが欲しい機能、本当に必要？
- 自分で開発する場合、最後までメンテナンスできる？

それでもフォークがいい

自身でメンテナンスする場合:

- upstream追従時の大量のマージコンフリクトに耐えられる？
- 継続的に依存関係の更新やセキュリティパッチを更新できる？

他者がメンテナンスしている場合:

- そのフォークが開発終了した時にどのソフトウェアに移行するか検討した？
- 開発者に対して何らかの支援はできるか？

フォーク開発をするなら

その機能は本当に必要？

あなたが欲しい機能は、必ずしも必要とは限らない
なぜupstreamに実装されないのか、よく考える必要がある

脆弱性、大丈夫？

CodeQLやdepandabotなどで継続的なメンテナンスをしよう

メンタル、大丈夫？

大量のマージコンフリクトにやられない強靱なメンタルが必要

最後に

フォークにするときは慎重に検討しよう
特に、自分以外が自分のサーバーにいるとき